

3Rを意識してごみを減らし、 ごみを活かす循環型社会を 目指しましょう



「3R（スリーアール）」とは「R」ではじまる3つのごみを減らすための行動・選択です。ごみの発生を抑制し、分別して資源として活用していくことで、貴重な天然資源の消費を抑え、環境負荷をできる限り減らすことができます。

限りある地球の資源の利用を減らすために、ごみを減らし資源を有効に繰り返し使う社会（循環型社会）をめざしましょう。

Reduce（リデュース）

ごみになるものを買わない、
出さない、使い切る

- 買い物はマイバックを持参する
- 食品を必要な量だけ購入する
- 食べ残しをしない
- 過剰包装を断る



Reuse（リユース）

繰り返し長く大切に使う、
再使用する

- 人にゆずる、リサイクルショップ、フリーマーケットを利用する
- リターナブルびんを利用する
- 詰め替え用製品を選ぶ



Recycle（リサイクル）

使い終わったものを資源として再生利用する

- ごみを市の決めたルールを守って正しく分別する
- 生ごみをたい肥化して利用する
- 紙やペットボトルなどから再生された商品の購入を心がける



資源のゆくえ 分別収集した資源物は、リサイクルされています。

令和2年2月現在

空きびん
↓
新たなびん



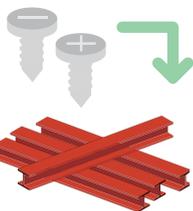
ペットボトル
↓
繊維用品
ペットボトル



空き缶
↓
鉄製品やアルミ缶
などの製品



金属類
↓
鉄製品



プラスチック
↓
固形燃料



紙類
↓
再生紙や
牛乳パックなど



安来市の分別と処理

ごみ（廃棄物）

一般廃棄物

産業廃棄物

家庭ごみ・事業ごみ※

産業廃棄物に該当する物は、収集及び市の施設での受入は行いません。

※P29の分別区分に該当するもの。

燃やすごみ→P7

リサイクルすることができない
燃やすことのできるごみ

【焼却処理】

清瀬クリーンセンターで大型車両にごみを積替えて搬出し、民間業者の焼却施設で委託処理をしています。

資源ごみ 資源として再利用できるごみ

プラスチック類→P9

雑紙(その他の紙類)→P11

缶類(飲料用)→P13

ビン類(飲食用)→P14

金属類→P15

新聞・新聞チラシ→P16

本(書籍)・雑誌・冊子→P17

ダンボール→P17

牛乳パック→P18

ペットボトル→P19

衣類→P20

蛍光管・水銀体温計→P21

板ガラス→P22

【収集運搬】

分別品目により、高尾クリーンセンター、広瀬一般廃棄物最終処分場、市内外の再資源化事業者まで運搬されます。

【市の処理施設では】

機械や手作業での選別を行い、さらに細かく分別してリサイクルを推進しています。

例えば…

家庭から金属類として排出された物は、鉄、アルミ、銅、小型デジタル家電など20種類以上の選別を行っています。

埋立ごみ→P23

一部資源化

リサイクルすることができない
燃やすことのできないごみ

【埋立処理】

市の最終処分場で埋立処理をしています。

粗大ごみ→P25

選別や分解などを行い、再資源化を図っています。